

進路だより

大阪府立東淀川支援学校 進路指導部 令和5年7月10日 第4号

進路だより第4号では、高等部の校内・現場実習の内容をお伝えします。

高等部1年

高等部に入学して初めての校内実習に取り組みました。ステップル・蝶番の組み立て、ビスの袋詰め、ハンガークリップの組み立てなどグループに分かれて取り組みました。お店で並んでいる商品を自分たちで製品にしていく貴重な体験ができました。初日は緊張していましたが日を重ねるごとに慣れていき、丁寧に作業ができるようになりました。最初は難しかった「報告・連絡・相談」もスムーズにできるようになり、友だちと協力して作業を行う楽しさも経験することができました。

6月21日(水)にCD班の生徒は企業見学でエルアイ武田十三グループに行きました。十三グループでは、主に施設の清掃や洗濯などの業務を行っており、今回は食堂やビル、トイレ清掃の様子を見せていただきました。実際に働いている様子を見て、「働く」イメージが少しできたようです。振り返りでは、「あいさつと報告の大切さがわかりました。」「働くためには、責任感、コミュニケーション、やる気が必要だと感じました。」「明日からの実習では、商品を大切に、集中して取り組みたいです。」など様々なことに気づくことができました。

高等部2年

高等部2年生は、ステップルの組み立て、蝶番の組み立て、ハンガークリップの組み立て等を、それぞれのグループに分かれて行いました。3回目の実習ということもあり、落ち着いて丁寧に行うことができました。

作業をしながら、残り時間を考え、自分なりに達成したい個数を設定する場面もみられました。他にも言葉づかいを意識し、「報告・連絡・相談」もできるようになるなど、実習前に立てた目標を意識して作業を行うことができました。

現場実習には7名が参加しました。学校とは違う環境に緊張することもありましたが、一人一人が「働く」という責任を持って実習に取り組めたことは、自信につながったと思います。

実習を終えて、「仕事」や「将来」に対する意識が感じられるようになってきました。実習での学びを今後の学校生活でも活かし、働くために必要な力をより高めていってほしいと思います。

高等部3年

校内実習では、「ステップル」「蝶番」「缶バッチ」の組み立てやネジの袋詰め、金属部品のバリ取り、機械部品の解体仕分け、鍵の検品の作業に取り組みました。1年生の頃から取り組んでいる作業については熟練の技を見せ、スムーズに作業することができました。初めて取り組む作業についても説明をしっかりと聞き、丁寧さを心がけて取り組むことができました。

福祉サービス事業所や企業での現場実習では、進路決定に向けて緊張感をもって取り組みました。家庭や学校で培ったものを活かして実習先の方々とコミュニケーションをとりながら、最後までやり遂げることができました。現場実習から帰ってきた生徒たちは一回り成長し、頼もしく感じられました。

